

武田雄飛丸君(国際文化3年)への

無期停学処分は撤回できる!



ここが不当だ!!

①「一人の仲間への処分はみんなへの処分だ」

今日のピラでは、法大生・武田雄飛丸君に対する「無期停学処分」はなぜ不当なのかを訴えます。

武田君は現在、法大当局による処分に怒りを爆発させ、「再審査請求」を提出し処分撤回を求めています。法大生の怒りの先頭を立て「学祭規制反対」の声を上げてきた武田君と連帯して、ともに闘ってください。10・19法大集会の時のように1000人が「処分撤回、武田君を返せ」の声を上げたら、当局は1000人を処分することはできません! 学生はバラバラにされたら弱いかもしれないが、団結した時に処分策動も絶対粉碎できる。

②学生から学ぶ権利を奪うな

武田君はキャンパスへの入構すら禁止され、警備員や法大職員に阻止されるようになっていきます。学生の学ぶ権利を徹底的に奪っています。しかも学生の話も何ら聞かず、申し入れや抗議文にも一度として回答してこなかった人間が、密室で勝手に決めたのです。都合の悪い主張をする学生は構内に入れない。理由など何だっていいからとにかく処分。ここに処分の本質があります。大学の腐敗した現実が武田君への処分の中に現れています。

③学祭規制に対する

法大生の怒りを抑え込むための処分

具体的には、武田君は学祭での全面飲酒規制をはじめ当局の一方的な規制強化や学生の自由と自治の剥奪に反対していました。今年の学祭規制は、半数以上のサークルが規制反対の意見を表明する中、反対派の学生を会議から締め

出し、当局と癒着した学祭実幹部によって強行されました。

学祭規制反対の声は、自主法政祭を守り成功させたいという多くの法大生の声です。武田君がその先頭に立ち法大当局や学祭実幹部に抗議したことをもって「迷惑行為」「業務妨害」と決めつけています。弾圧職員や学生センターの暴力行為はすべて「正当」で批判・抗議をすればすべて「迷惑」「誹謗中傷」なのか。こんなことを認めたら、学生は当局の奴隷だということです。

④福島と連帯しキャンパスから

御用学者弾劾に立ち上がらせないための処分

いまひとつの処分理由は、「授業妨害」ですが、そもそも事実として違う。これは人間環境学部が主催した放射線影響研究所理事長の大久保利晃の講演に、武田君が聴講しようとしたところ排除され、それに抗議をしたことです。「授業妨害」などどこにも存在していません。

学生が自由にももの言えない大学のあり方が、御用学者をのさばらせています。福島と連帯してキャンパスから立ち上がることへの処分を許してはなりません。

学祭規制粉碎! 武田君への処分撤回!

メッセージ

学部:

学年:

学生の自由を返せ!
当局による弾圧反対!

社会学部:

学年: 2年

悔しいです。
学生が声をあげられない状況
を打破していきましょう!!!

学祭期間中、3桁を超えるメッセージが続々と寄せられました。

社会を変える力は 選挙や議会にない！

欧州で歴史的な大ゼネスト・デモ！ 世界の闘いに続く時

◆野田政権は成立から1年2カ月で、日本中の「生きさせろ！」の怒りに包圍され打倒された。原発再稼働、日米安保強化・オスプレイ配備、非正規職化、増税といった「新自由主義政策」=1%の資本の救済のための政策を推し進めてきたが、まさにそれが99%の労働者民衆の怒りを引き出した。その先頭に立ったのが福島県の怒りであり、官邸前や全国で巻き起こる反原発の闘い、職場・キャンパスからの「もう我慢ならない」という声だ。

◆ちまたは選挙一色だが、誰もこんな腐った選挙や議会に未来を託すことができるとは思っていない！「3・11」で国の本質が明らかになり、数百万の人々が街頭でデモを起こし、自らの行動で未来を選択すると決意してきた。その力こそ政治を変える力だと確信してきたからだ。

ヨーロッパでは11月14日、ポルトガル、スペイン、ギリシャなど23カ国で労働組合が決起し、緊縮策、大量首切りと増

税反対で1000万人が怒りの声を上げた。若者の半数以上が失業・半失業状態だ。民営化が計画されている病院、学校の労働者、学生が職場・大学を止め、ストラ

イキとデモに立ち上がった。中国では共産党大会の厳戒態勢を打ち破り、労働者のストライキが次々と爆発している。こうした闘いに心底恐怖しているのが、野田、安倍、石原、橋下らだ。

◆社会を変える力はどこにあるのか。

その答えはここに示されている。日本では11月4日、全世界の労働者と団結して1%の資本の支配する社会を変えようという集會が行われた。11月11日に、デモ禁圧を打ち破って震が関で反原発20万人大占拠が闘われた。このうねりをキャンパス・職場から爆発させれば、絶対に社会を変えられる！

闘わなければ生きられない時代だ。大恐慌・国家破綻にのたうつ資本家は、戦争と大失業・10割非正規化で延命しようとしている。教育や医療まで金儲けの道具にし、社会を壊している。その最たるものが原発だ。福島を切り捨て、人類の未来を破滅させても核にしがみつこうとしている。それを競い合う総選挙の中に未来はない。こんな社会は99%が団結した時に根本から終わらせられる。立ち向かう力は、闘う労働組合と学生自治会の復権にある！

◆目の前の現実と徹底的に闘おう。法大キャンパスから、「処分撤回」の大運動を巻き起こそう。東北大学学生自治会が呼びかける11・27東北大全集會に集まろう。

写真は11月14日、ローマの緊縮策反対デモ

大学の主人公は学生だ!
サークル部室を奪うぞ!
キャンパス集會
12:00~ 川内北キャンパス中央
STRIKE
OCCUPY
サークル活動の自由を守ろう!
教育の私権化反対!
東北大全国集會
18:00~ 川内北キャンパスC106教室
11.27 Tue.
東北大一日行動
呼びかけ: 東北大学生自治会 (6-13) / 東北大文化部長サークル協議会運営委員会 (F-14)
連絡先: サークル安藤0-13 (学生自治会室) / tohoku_uso@tohoku.ac.jp



11月11日、震が関・国会前に20万人が結集

■「大飯原発止めろ! 大間作るな! もんじゅやめろ!」 官邸前反原発抗議行動

11月23日(金・祝)18時~20時 主催: 首都圏反原発連合

■大学の主人公は学生だ!

11・27東北大一日行動(要項は右上ポスター参照)

東京からは車を出します。参加希望する方はご連絡ください。